

デッキバスシャワー混合栓施工説明書 (お客様にお渡してください)

機種名

一般地用品番

寒冷地用品番

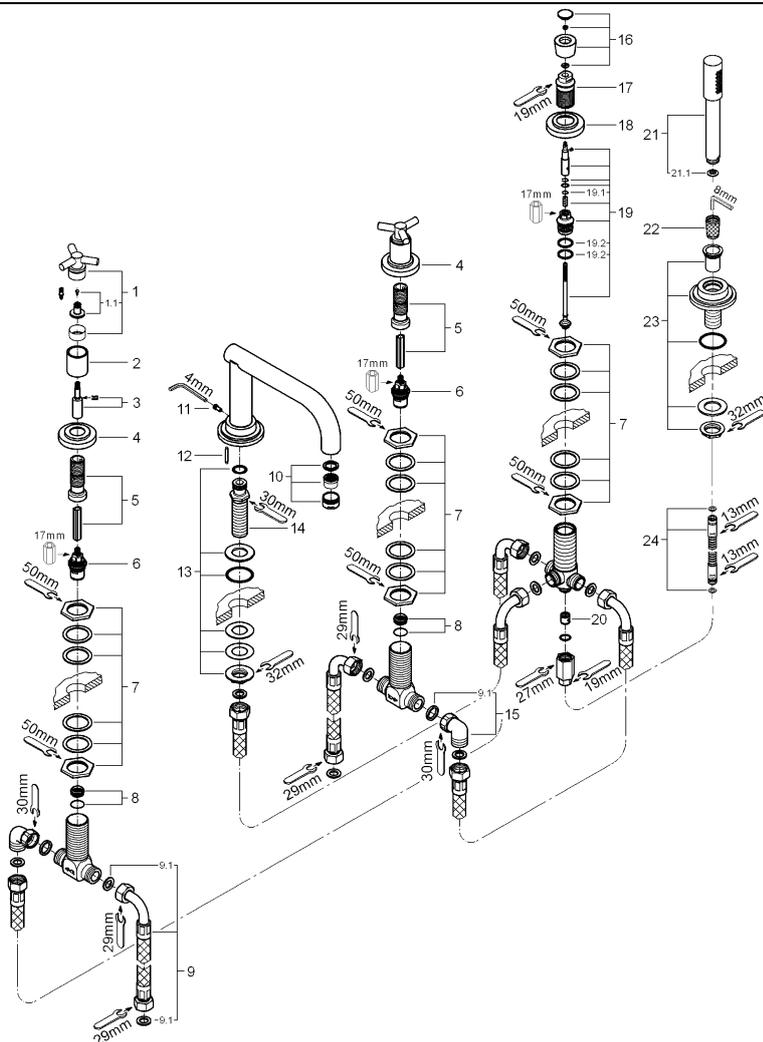
アトリオ

2506500J

- 製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
 - この施工説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
 - 施工完了後、試験運転を行い、異常が無いことを確認するとともに、「取扱説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- また、この説明書は、お客様で保管頂くように依頼してください。

分解図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。



図番	名称
1	ハンドルセット
1.1	インサートセット
2	スリーブ (セットナット)
3	スピンドル (セットナツ)
4	化粧プレート
5	スピンドルセット
6	セラミックヘッドパーツ
7	バルブ締付セット
8	弁座
9	接続ホース
9.1	3/4 パッキン
10	エアレーター
11	止ビス
12	固定ピン
13	吐水口締付セット
14	ニップル
15	エルボ
16	切換ツマミ
17	切換スリーブ
18	化粧プレート切換
19	切換弁セット
20	逆止弁
21	シャワーヘッド
22	シャワーニップル
23	シャワーホルダー
24	シャワーホース

安全上の注意

施工前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく施工してください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠注意

湯水を逆に配管しないでください。

※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

お客様に引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。

寒冷地仕様ではありませんので、水抜きには工具を必要とします。

※凍結破損で漏水し、家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

施工完了後は、配管接続部分及び水栓から、水漏れの無いこと、レバー、ハンドルが閉じていることを確認してください。

※漏水で、家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

使用条件

● 給水、給湯圧力

◇貯湯式温水器（ボイラー、電気温水器）と組み合わせる場合

流動圧で最低必要圧力(0.07Mpa [0.7kgf/C m²])～(最高圧力0.74Mpa [7.5kgf/C m²])の範囲とします。

給水・給湯圧力はできるだけ同圧（最大3：1以内）になるようにしてください。

◇ガス給湯器（比例制御式：16号相当）と組み合わせる場合

流動圧で最低必要圧力(A+0.07Mpa [0.7kgf/C m²])～(最高圧力0.74Mpa [7.5kgf/C m²])の範囲とします。給水・給湯圧力はできるだけ同圧（最大3：1以内）になるようにしてください。

※Aはガス給湯器の最低作動圧力です。

※以上は下記の条件を想定して設定されて降ります。

レバー、ハンドルは全開です。

ガス給湯器との組合せ条件が最も悪い冬期条件（給水温度5℃、吐出温度40℃）によるものです。

給水圧力はガス給湯器直前における流動圧です。

ガス給湯器の温度調節は最高温度（60℃）設定です。

◇給水圧力が0.74Mpa [7.5kgf/C m²]を超える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力に減圧してください。

● 水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓の設置をおすすめします。

● 給湯に蒸気を使用しないでください。

● 水栓下部を点検出来るように必ず点検窓を設けてください。

施工前の注意

● 給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。

● 給水は上水道に接続してください。

※温泉水など異物を多く含む水には使用できません。

● 開梱、取り付けの際には商品の表面に傷をつけないように十分に注意してください。

● 必ず配管中の異物（ゴミ、砂等）を完全に洗い流してください。

● 寒冷地仕様は不凍栓等を設置した寒冷地仕様配管設備でないとは使用できません。

● 取り付けの場合、必ず水受けを設けスラブへの防水を行ってください。

● 給水・給湯管緩み防止の為、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

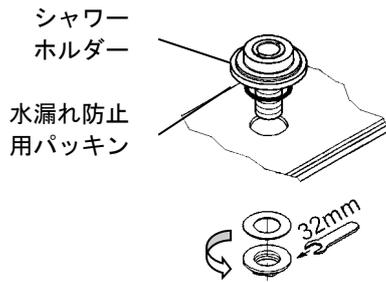
● 給水・給湯ブレードホースの接続ねじは平行ねじG3/4です。テーパねじ（TP3/4, R3/4）には使用しないでください。また止水には付属のパッキンは必ず使用してください。

施工手順（ハンドシャワー）

1. シャワーホルダーの取り付け（図1参照）

- ① シャワーホルダーをカウンター上部から取り付け穴に挿入します。カウンターうらから、スリップワッシャーを挿入し、締付ナットで締め付け、仮に止めておいてください。
- ② 締付ナットを工具（32mmスパナ）等で完全に締め付けてください。
※水漏れ防止用パッキンが取り付け穴に落ち込んでいないことを確認してください。シャワーホルダーを固定する際、取り付け穴の中心にくるように取り付けてください。

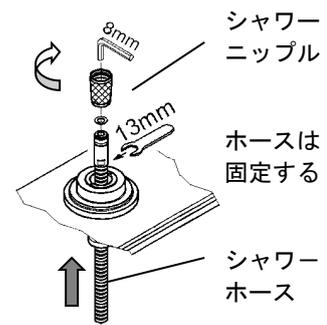
図1



2. シャワーニップルの取り付け（図2参照）

- ① シャワーホースをシャワーホルダーの下部から通してください。
- ② ホースにパッキンが付属しているか確認してください。
- ③ ホースを工具（13mmスパナ）で固定し、シャワーニップルを工具（8mm六角レンチ）で右回しにねじ込みます。
※強くねじ込み過ぎると、パッキンの割れ等が発生する場合があります

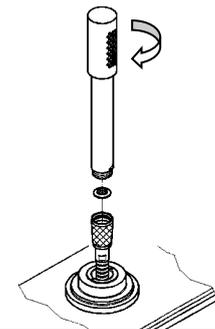
図2



3. シャワーヘッドの取り付け（図3参照）

- ① シャワーニップルにパッキンが付属しているか確認してください。
- ② ストレーナーをシャワーヘッドに、はめ込んでください。
- ③ シャワーヘッドをニップルに手で右回しにねじ込みます。
※強くねじ込み過ぎると、パッキンの割れ等が発生する場合があります。

図3



取り付け後の確認

取り付け完了後、必ず下記の項目を確認してください。

1. 接続部の水漏れ（図9参照）

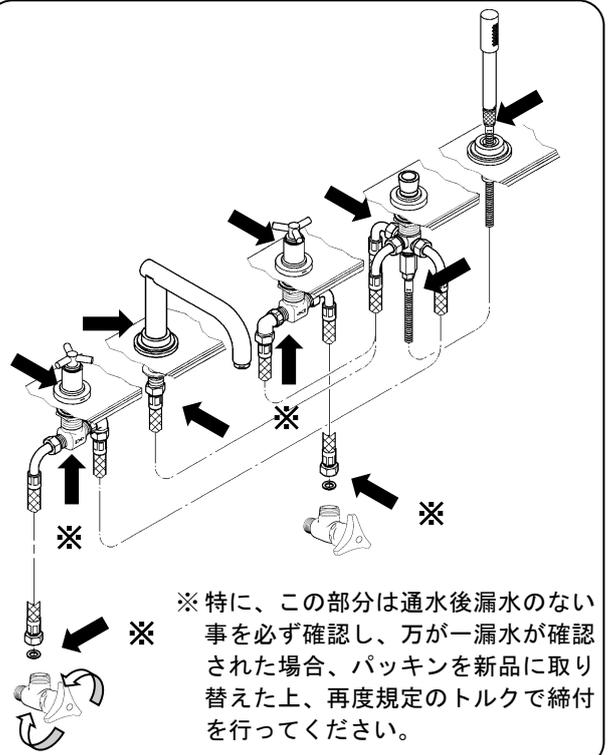
吐水、止水を数回くりかえした後、図の箇所を点検します。

- 止水栓と給水・湯接続ホースの接続部。
- 給水・湯接続ホースとバルブ給水・湯給口の接続部
- バルブとハンドルの接続部。
- バルブ出口とエルボの接続部。
- エルボと切換弁（接続ホース）の接続部
- 切換弁とニップル（接続ホース）の接続部。
- ニップルと吐水口の接続部。
- 切換弁とシャワーホースの接続部。
- シャワーホースとシャワーヘッドの接続部。

2. 水量・湯温の調節（図9参照）

お使いいただく現場で、適量・適温が得られるよう、止水栓で調節してください。
※湯水の流量を同程度にすると温度調節がしやすくなります。

図9



※特に、この部分は通水後漏水のない事を必ず確認し、万が一漏水が確認された場合、パッキンを新品に取り替えた上、再度規定のトルクで締め付けてください。

施工手順（吐水口、バルブ、切換弁）

7. バルブと切換弁の接続（図7参照）水側

- ①接続ホース袋ナットに付属のパッキンをはめ込んでください。
- ②接続ホース三本目は、水側バルブの入口側にエルボ側袋ナットを工具（29mmスパナ）等で確実に締め付けてください。反対のストレート側袋ナットを給水の止水栓などに工具（29mmスパナ）等で確実に締め付けてください。
- ③エルボの袋ナットは、水側バルブの出口側に、工具（30mmスパナ）等で確実に締め付けてください。
- ④接続ホース四本目は、切換弁の入口側にエルボ側袋ナットを工具（29mmスパナ）等で確実に締め付けてください。反対のストレート側袋ナットをバルブに取り付けたエルボに工具（29mmスパナ）等で確実に締め付けてください。

※付属のパッキンを紛失の場合は同径の市販品パッキンでもご利用できます。

※接続ホースがつぶれないよう注意してください。

※締付は、200～300kgf・cmのトルクで行ってください。初期の締付が弱いと漏水の原因になります。

8. 吐水口と切換弁の接続（図8参照）

- ①接続ホース袋ナットに付属のパッキンをはめ込んでください。
- ②接続ホース五本目は、切換弁の出口側にエルボ側袋ナットを工具（29mmスパナ）等で確実に締め付けてください。反対のストレート側袋ナットを吐水口の接続ニップルに工具（29mmスパナ）等で確実に締め付けてください。

※付属のパッキンを紛失の場合は同径の市販品パッキンでもご利用できます。

※接続ホースがつぶれないよう注意してください。

※締付は、200～300kgf・cmのトルクで行ってください。初期の締付が弱いと漏水の原因になります。

9. ホースの取り付け（図9参照）

- ①ホースを工具（13mmスパナ）で固定し、シャワーホース接続部の袋ナットを工具（19mmスパナ）で右回しにねじ込みます。
 - ②切換弁には四つの接続口があります。左右が湯水接続の入口、横が吐水口接続の出口、下がシャワー接続の出口になります。必ず接続を確認してください。
- ※ホースのオーリング付側のねじ部が切換弁側になります。

図7

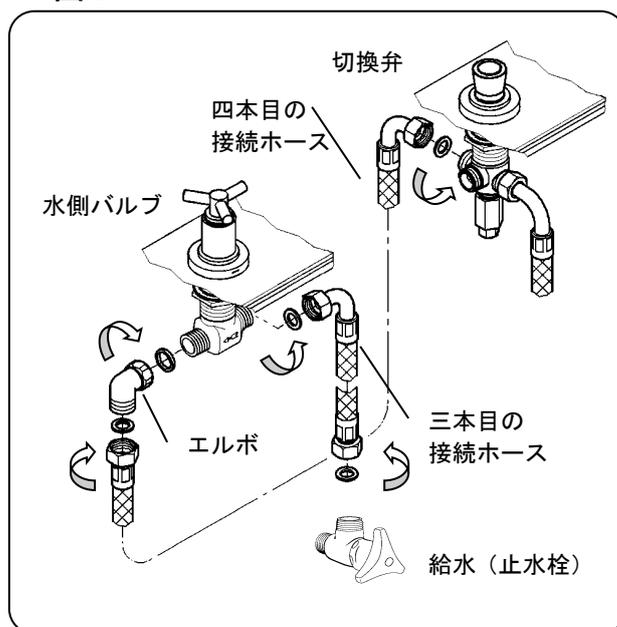


図8

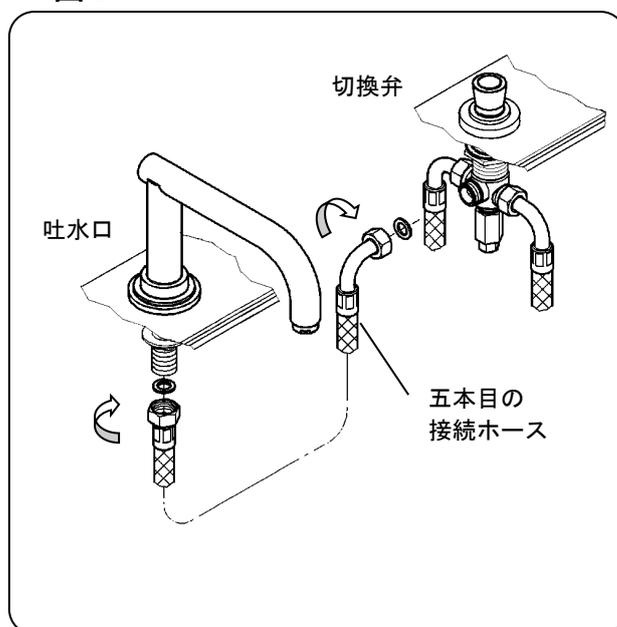
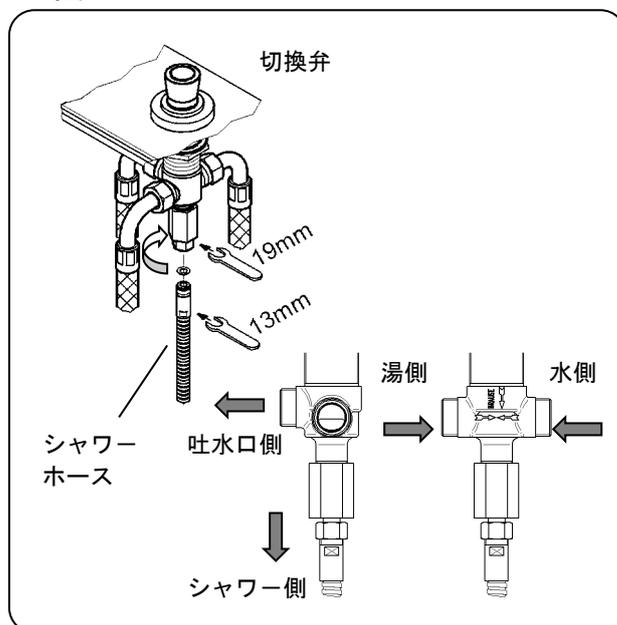


図9

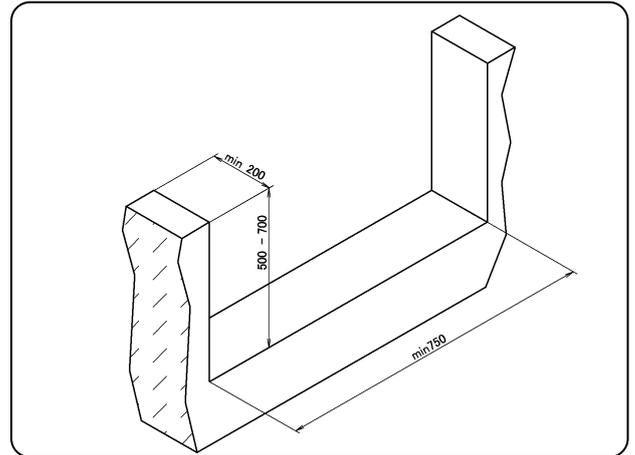


施工手順（点検窓、カウンター）

1. 点検窓の設置（図1参照）

- ①設置場所に点検用のスペースを設けてください。
- ②バルブと吐水口の接続には、ブレードホースを使用しております。劣化による部品交換が必要となった場合や、接続部分の水漏れ点検等のため、必ず点検窓を設置してください。
※必ず別途点検窓を設置してください。

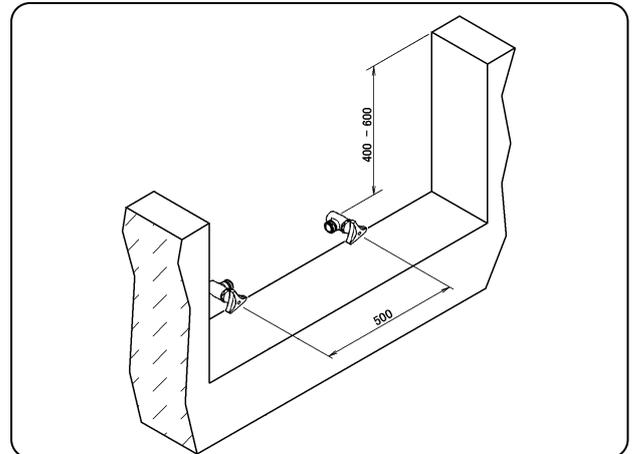
図1



2. 止水栓の取り付け（図2参照）

- ①設置場所に止水栓を設けてください。
- ②湯・水の水量調整や、接続部分の水漏れ点検等のため、止水栓の設置をおすすめします。
※止水栓の位置は規定寸法を守ってください。ブレードホースに余裕をもたせてください。

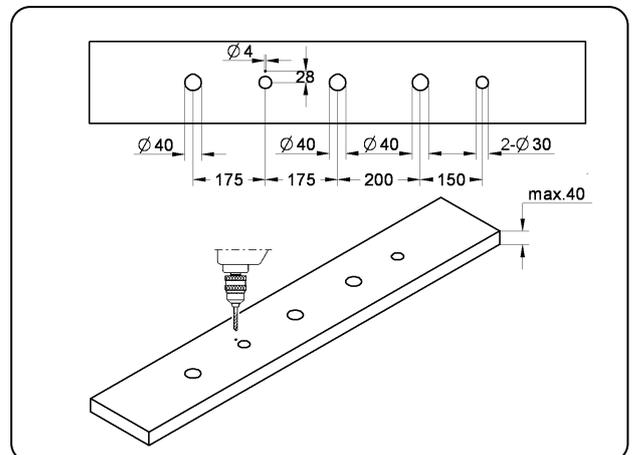
図2



3. タイル（石）の準備（図3参照）

- ①タイル（石）にドリル等で穴をあけてください。
※φ4は吐水口の固定ピンの穴になります。

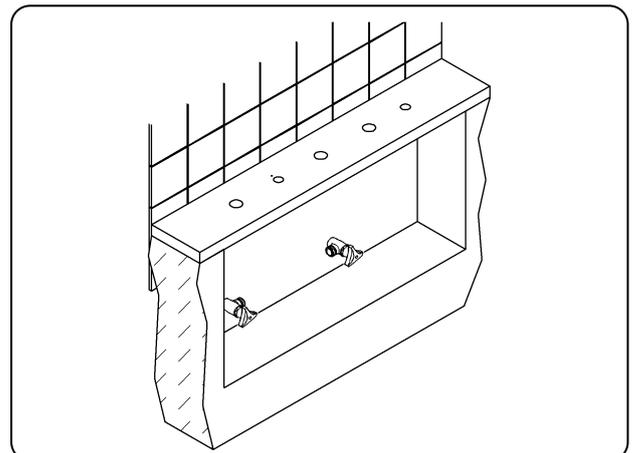
図3



4. カウンターの仕上げ（図4参照）

- ①設置場所には施工デッキプレートの上部カバー分のキリカキが必要です。
- ②施工デッキプレートの上部カバー分以外のカウンターを仕上げてください。
※カウンターの厚みは40mmまでになっております。

図4

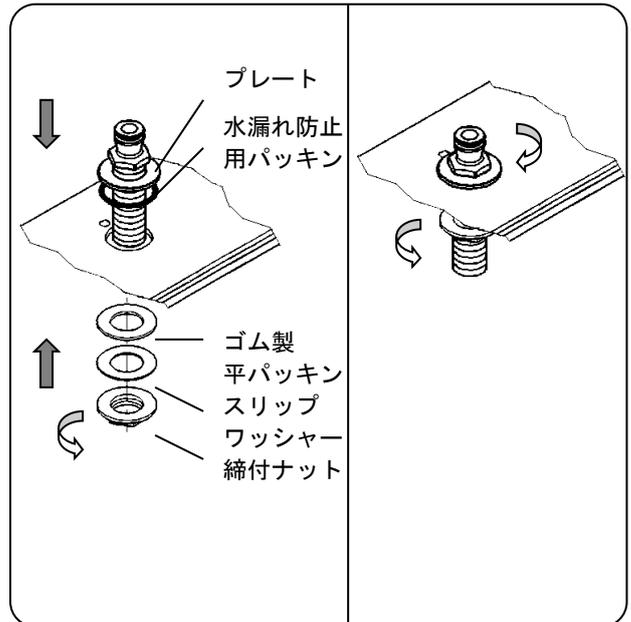


施工手順（吐水口、バルブ、切換弁）

1. ニップルの取り付け（図1参照）

- ①吐水口付属部品を収納している箱からニップルを取り出し、水漏れ防止用パッキンを取り出し、プレートに取り付けてください。
- ②ニップルをカウンター上部から取り付け穴に挿入します。カウンターうらからゴム製平パッキン、スリップワッシャーを挿入し、締付ナットで締め付け、仮に止めておいてください。
- ③ニップルの六角部を工具（30mmスパナ）等で固定し、締付ナットを工具（32mmスパナ）等で完全に締め付けてください。
 ※水漏れ防止用パッキンが取り付け穴に落ち込んでいないことを確認してください。ニップルを固定する際、取り付け穴の中心にくるように取り付けてください。
 ※ニップルが確実に固定されていることを確認してください。動く場合は、再度締付ナットを締め直して下さい。

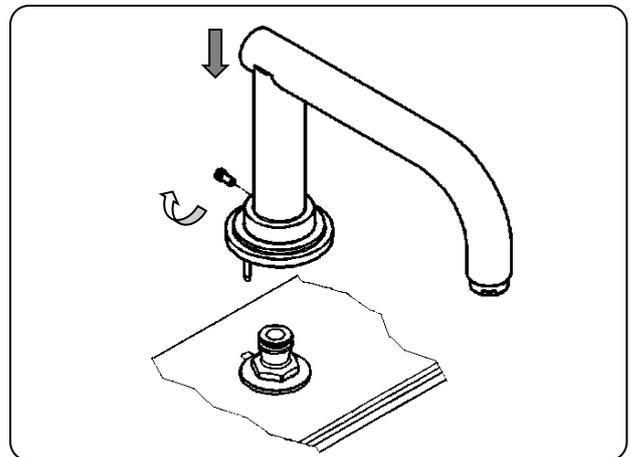
図1



2. 吐水口の取り付け（図2参照）

- ①固定ピンとカウンターの穴を合わせ、ニップルに吐水口を手で差し込みます。
- ②吐水口に止ビスを4mm六角レンチで右回しにねじ込み固定します。
 ※固定ピンの穴にはコーキングをお勧めします。
 ※吐水口が差し込みにくい場合はニップルのオーリングにグリスを塗ってください。
 ※吐水口が確実に固定されていることを確認してください。動く場合は、固定ピンがキチンと入っているのを確認し、止ビスを締め直してください。

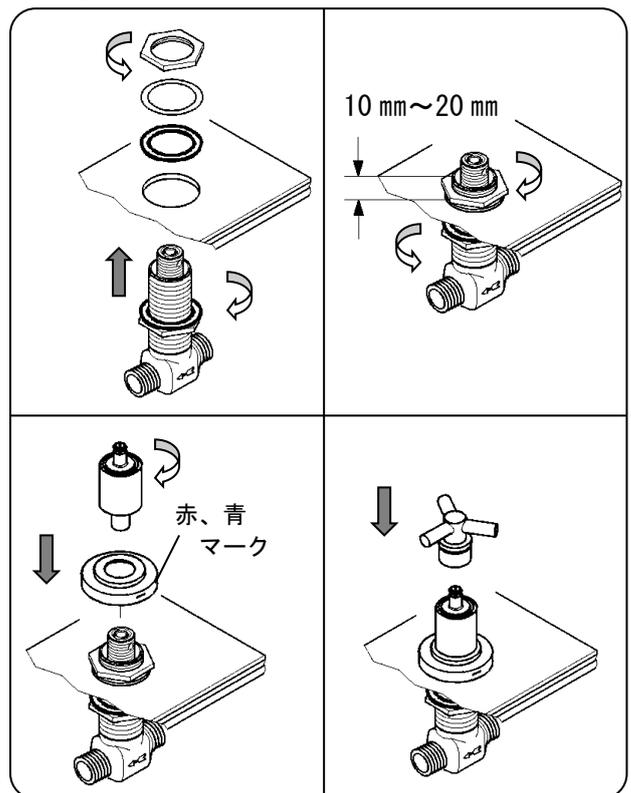
図2



3. バルブの取り付け（図3参照）

- ①バルブに付属している上側の締付ナット、スリップワッシャー、ゴム製平パッキンを取り外してください。バルブの入口と出口（矢印の刻印で表示）を確認し、カウンター下部より挿入してください。
 また、バルブは湯、水の区別がありますので、湯側は赤ライン、水側は青ラインを使用してください。
- ②上側のゴム製平パッキン、スリップワッシャーを挿入し、締付ナットで挟み込み。プレート装着代10mmから20mmをとり、尚且つ入口と出口の向きが施工しやすい位置で上下の締付ナットを工具（50mmスパナ）等で締め付けてください。
- ③化粧プレートのマークが正面になるよう仮置きし、ネジガイドにセットナットを手で右回しにねじ込み、仕上げ面とセットナットの間で化粧プレートを固定します。
- ④セットナットスピンドルのギザギザにインサートのギザギザを合わせ手で差し込み、インサートを手で右に回し閉栓の状態にし、止ビスを右回しにねじ込みます。インサートはセットナットに付属している場合があります。
- ⑤ハンドルはインサートの爪が折れないよう注意しながら真っ直ぐに、確実に、はめ込んでください。
 ※バルブが確実に固定されていることを確認してください。動く場合は、再度締付ナットを締め直してください。
 ※セットナットはキズをつけないよう工具での締め付けは行わないでください。ゴム手袋などを使用し、手でしっかり締め付けてください。
 ※化粧プレートのマークは正面にくるようにしてください。また、赤を左側、青を右側にしてください。

図3

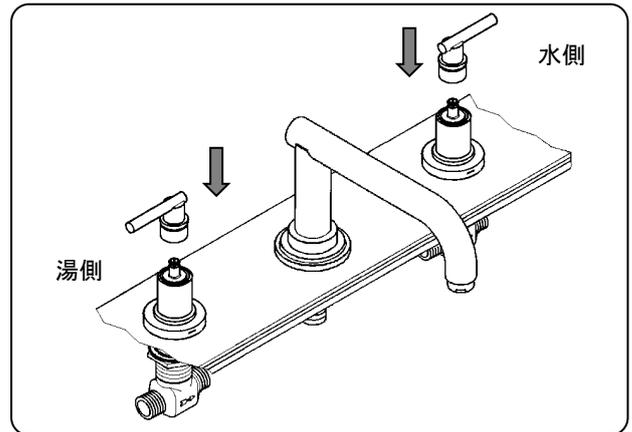


施工手順（吐水口、バルブ、切換弁）

4. ハンドルの調整（図4参照）

- ① ヨータハンドルは図のように、外向きに取り付けてください。
※湯側は右回し、水側が左回しで閉栓になります。

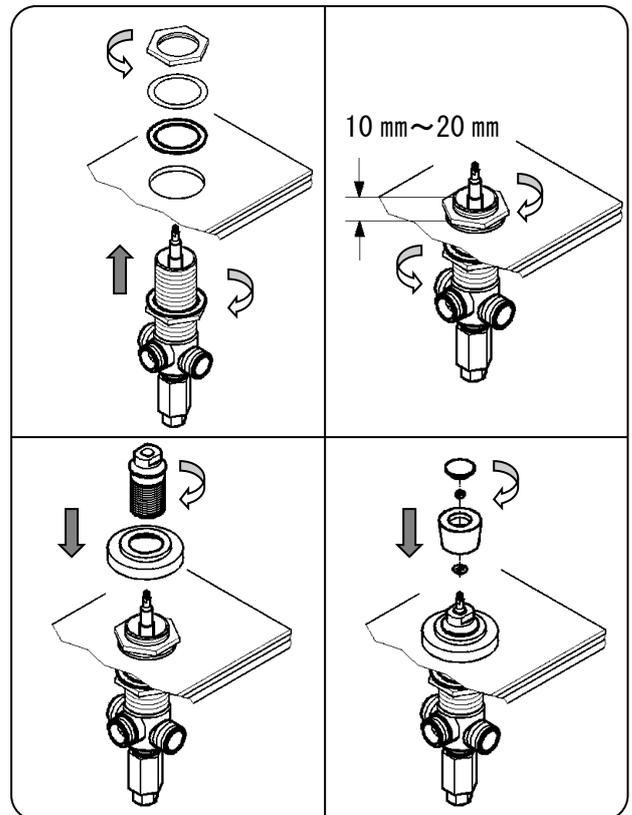
図4



5. 切換弁の取り付け（図5参照）

- ① 切換弁に付属している上側の締付ナット、スリップワッシャー、ゴム製平パッキンを取り外してください。バルブの入口と出口（矢印の刻印で表示）を確認し、カウンター下部より挿入してください。また、下側はシャワーホースの接続になります。
- ② 上側のゴム製平パッキン、スリップワッシャーを挿入し、締付ナットで挟み込み。プレート装着代10mmから20mmをとり、尚且つ入口と出口の向きが施工しやすい位置で上下の締付ナットを工具（50mmスパナ）等で締め付けてください。
- ③ 化粧プレートを仮置きし、セットナットを工具（19mmスパナ）等で右回しにねじ込み、仕上げ面とセットナットの間で化粧プレートを固定します。
- ④ 切換弁のスピンドルにワッシャーを手で差し込む、切換ツマミを挿入します。
- ⑤ ナットを工具（8mmスパナ）等で右回しにねじ込みに、キャップを、はめ込んでください。
※バルブが確実に固定されていることを確認してください。動く場合は、再度締付ナットを締め直してください。
※セットナットは工具での締め過ぎ等による部品の破損に注意してください。また、キズをつけないようにしてください。

図5



6. バルブと切換弁の接続（図6参照）湯側

- ① 接続ホース袋ナットに付属のパッキンをはめ込んでください。
- ② 接続ホース一本目は、湯側バルブの入口側にエルボ側袋ナットを工具（29mmスパナ）等で確実に締め付けてください。反対のストレート側袋ナットを給湯の止水栓などに工具（29mmスパナ）等で確実に締め付けてください。
- ③ エルボの袋ナットは、湯側バルブの出口側に、工具（30mmスパナ）等で確実に締め付けてください。
- ④ 接続ホース二本目は、切換弁の入口側にエルボ側袋ナットを工具（29mmスパナ）等で確実に締め付けてください。反対のストレート側袋ナットをバルブに取り付けたエルボに工具（29mmスパナ）等で確実に締め付けてください。
※付属のパッキンを紛失の場合は同径の市販品パッキンでもご利用できます。
※接続ホースがつぶれないよう注意してください。
※締め付は、200~300kgf・cmのトルクで行ってください。初期の締め付が弱いと漏水の原因になります。

図6

